

ニッポン ドクター和の 臨終区巻



長尾和宏(ながおかずひろ)
医学博士。公益財団法人日本
尊厳死協会副理事長としてリビ
ング・ウィルの啓発を行う。映画
『痛くない死に方』『けったいな
町医者』をはじめ出版や配信な
どさまざまなメディアで長年の
町医者経験を活かした医療情報
を発信する傍ら、ときどき音楽
ライブも。

昭和を乗り越えた兄・年雄さんとの絆

昨今、昭和歌謡ブームが熱いですね。僕は町医者を卒業してから歌手活動も行っていて、今度行う11月のライブ(銀座・金沢・神戸)も、懐かしの昭和歌謡をいろいろ準備しております。ご興味ある方は<長尾和宏オフィシャルサイト>を探してみてください。

歌うのは大好き。だけどスナックでデュエットに誘われると緊張してしまい、断ってしまう弱気な僕。

そして他の男性客がうれしそうに若いお姉さんと歌っているのを横目で見ながら、ひそかにジュラシーを覚えてしまう年頃です。

たとえば2時間スナックで飲んでいたら、必ず誰かが入れるデュエット曲といえば、『ロンリー・チャップリン』『別れても好きな人』、そして『3年目の浮気』でしょうか。



1982年にリリースされた『3年目の浮気』は、累計130万枚を超える大ヒット。ヒロシ&キーボーとして一世を風靡したヒロシこと、黒沢博さんが9月6日に死去されたと、博さんの兄で俳優の黒沢年雄さんがブログで発表しました。享年75。死因は慢性骨髄性白血病だと関係者が明

かしています。

血液の中にある白血球、赤血球、血小板…これらの血液細胞を作り出す大元の細胞を、造血幹細胞といいます。慢性骨髄性白血病とは、この造血幹細胞に染色体異常が生じ、がん化した血液細胞が無限に増殖することで発症する病気です。

白血病の中では非常に進行が遅いのが特徴で、初期にはほとんど症状が現れません。しかし、年月とともに異常な血球細胞が増えてくると持続的な疲労感や貧血、体重減少、アザができやすい、頻繁に発熱するなど、さまざまな症状が出てきます。

ひと昔前まで、この病気は「不治の病」とみなされていましたが、2000年代から分子標的薬をはじめ新たな治療薬が登場し、生存率は大幅に向上しています。

黒沢さんが何歳のときに発症したかは不明ですが、長く病気と共存されていたこととお察しします。

博さんが亡くなられた翌日、兄の年雄さんは、ブログにこんなふうに綴(つづ)っていました。

「昨夜…口の聞けない博にいっぱい話しかけました…博がいつも、兄貴はスーパーマンだといふらしていたので…耳元で冗談に「俺はスーパーマンだから全て任せて安心しろ、と言ったら、とても喜び僕の手を強く握り返して涙を流し喜びに溢れていました」(原文ママ)

5歳下の弟を見送った年雄さん、その胸中はいかばかりでしょうか。しかし博さんは、強い兄に見守られ心強かったはず。幼少期に苦勞を共にした兄弟ほど年をとってからも仲がいいものです。『3年目の浮気』も当初は年雄さんにオファーが来た曲だったとか。昭和を乗り越えた兄弟の絆よ、永遠に。

373 歌手 黒沢博